

～松政クラブは誠実に着実に市民の皆様の負託に応えます～

松江市議会

松政クラブだより No.15

発行 令和5年3月  
発行者 松江市議会 松政クラブ  
松江市末次町86  
松江市役所内  
電話 0852-55-5436  
H P <http://syousei-club.jp/>

## 市民の皆様とまちづくりを

松政クラブ 会長 三島良信

暖かい春を向かえました、WBC2023 日本代表は国民の願いを叶え優勝をしました。初めから筋書きが出来ていたような戦いで、一致団結すれば事がかなえられることを証明しました。新型コロナウイルス感染症が広がり市民の皆さんをはじめ私たち議員も行動を大きく制限された3年間でした。経済も大きく落ち込み事業者の皆様も苦労をされた事と存じています。松政クラブはコロナ感染症に係る対策や救援事業など市民の皆様からお聞きし、執行部に提案・提言をしてまいりました。今、国は5月8日から、新型コロナを「新型インフルエンザ等2類」から外し、5類感染症とする方向です。これに伴い、医療体制、市民負担など様々な問題が考えられます、行政では公費支援など様々な政策・措置の対応が求められます。個人負担をゼロとは申しませんが、スムーズな移行を望んでいます。5類に変えても感染症が消滅するものではなく、引き続き感染予防に努めなければなりません。

さて、松江市は、まちづくりの基本である「総合計画」を策定し動き出しています。コロナ感染や世界情勢が大きく変わろうとしています。松江市の現状を伝え市民の皆様と共に大胆に政策を進めていく必要が有ると考えています。松政クラブのメンバーは減りましたが新たな場所で使命を果たして頂き、連携を取りながら、市民の皆様の「安心・安全を最優先」に取り組み、「笑顔の見えるまちづくり」に取り組んでまいります。

令和5年2月記

## 土地利用制度について(制定から50年)

### 《線引き制度は廃止すべきと考える。》

平成17年の合併により新松江市は宍道湖や中海を取り込んだ広範囲の地形になりました、平成14年10月に「松江圏域都市計画区域」に緩和制度を設け、市街化調整区域の開発に柔軟に応えようと改正しました。しかし、住民にはあまり魅力が薄く開発意欲も湧かず空き家が増加しています。

以前から申し上げていますが、昭和の合併から旧松江市の周辺地域はまちづくりが遅れている様に感じます。平成25年2月議会では各所より線引きの廃止を訴えた陳情が提出され、松江市議会は「可決」採択しております。その後、緩和地域を設定されたが、地域の拠点を作ることが出来ずにいます。この現状は、議会軽視ともいえ現在まで来に至ります。松江市の「まちづくりの拠点」を創るためにゾーンの設定も求めたが、市民に解るように方向性を示すことが出来ず残念です。

農地については、国が大規模圃場での耕作を推奨し、小規模農業の未来を考慮していないように見えます。すでに圃場し耕作組合の設立も進んでいますが、近年後継者は減少し運営が厳しい現状も伺えます。また、個人の農地は荒廃しているところも有ります。さらに農地は多目的活用を望んでおられる農家もある様に伺います。線引きを廃止すると農地の転売が進むという声を聴きますが、農地法で守られています。地域や場所を勘察し農業委員会で審議して頂き、よりよい農業を前に進めることが重要です。

松江市は、コンパクトシティとネットワーク化を提唱していますが、コンパクトシティの規模や周辺拠点の規模などを具体的に示して官民連携でのまちづくりが必要ではないでしょうか。コロナ感染により経済が停滞したことも有り土地開発意欲も下がっていますが、民間活力を大いに求め地域に活力を湧かせることが必要ではないでしょうか。個人の財産を強く制限することが今必要か疑問を感じています。制度を毎年変えるようなことは出来ませんが、松江市が他市に遅れた感もあり、時代にあった施策を考える必要が有るのではと考えています。

この際、制限などを設けずに線引き制度を廃止して市民や経済団体の軌き「経済情勢」を見ていくことも重要ではないかと考えます。

# 令和4年度の活動

## 三島良信

新型コロナウイルス感染症に伴い、各種会合等の自粛に伴い市民の皆さんと膝を交えての会合が出来ず、ご意見やご要望を十分に把握することが出来ず残念な年でありました。一日も早く終息することを願っており、議会でもコロナ感染症対策の議案が多くありました。



さて、以前から市民の皆さんから（線引き制度）廃止の意見を頂いていましたが、松政クラブも同じ方向で取り組んで来ましたが、4年度中にまとめることとされていまして近日中に一定の方向が示される予定です。R3年の大雨による災害復旧工事も遅れていますが建設業者が忙しいとの事で延び延びですが、出来るだけ早く工事着手できるように要望しています。

## 三島進

ここ数十年間、県都松江の歴史、文化を生かした町の姿へと市民の幸せと豊かさを求めてきました。特に市街化調整区域は完全撤廃すること、これが市民にとっての平等であります。



上定市長のもとで誇れる町を作り上げていただきたい。線引き制度の見直しに伴う都市計画税の見直し、高齢化に伴いゴミ収集場所の増設支援、水道の漏水分の料金支援、下水道区域内での合併浄化槽補助金支援、米価下落についての支援など提案してまいりました。

## 野々内誠

コロナ禍で対面活動が制限される中、ブログで活動をお伝えし昨年は130件。2.8日に1回市民の皆様とお会いしている勘定です。



市議会では副議長として、議会運営や執行部との関わり、松江市を代表して全国市議会の会議参加など、活動の場をいただきました。

市議会では正副議長は一般質問ができませんが、議員活動として、都市計画・線引き制度問題や水害防除、松江の出雲そば振興など地元の課題解決などにも、忙しく走り回った令和4年でもありました。令和5年も全力を尽くして頑張ります。

## 小澤竜

- ・コロナ禍において、事業者支援及び一時的な自死率の上昇に対する対策提案。
- ・DX時代に向けたマイナンバーカード普及促進提案。
- ・地域資源（自然・景観・歴史・文化・人）の掘り起こし、磨き上げ、発信。から地域経済の循環に重きを置いた提案（水辺空間の利活用、関係人口の取り組み、ふるさと納税）
- ・若者文化の新たな土台作りの必要性とコロナ禍の地域コミュニティの希薄を危惧した提案（松江のライブエンタメ芸術振興、松江市にぎわい創出支援事業について）
- ・アウトソーシングを見据えたインバウンド観光戦略について、観光地としてのホスピタリティについての提案（空港連絡バス内の市内PR）
- ・中心市街地における観光地巡りの新たなまち歩き提案（電動キックボードの導入）
- ・超高齢化社会に向けての介護人材の確保とICT活用促進の提案などに取り組んでまいりました。



## 吉金隆

- ・コロナ対策において感染拡大を抑えている地域への支援・コロナ禍により中止した事業数と事業額
- ・水害被害について現在の被害状況・崩壊防止事業などの対象にならない災害個所の救済・制度から漏れた自治会所有の土地などに対する新たな制度
- ・市長の掲げられた「豊かな松江」は何を指し、その重点事象は何か、また「まとまりのあるコミュニティ」の現状は厳しい状況にあり、その再生手法
- ・教育問題において少人数学級とチームティーチングの違い・家庭教育の拡充・義務教育下で子どもの成長を促すシステムなどについて支援・要望を致しました。



## 森脇勇人

島根町加賀の火災に於いて被災者生活支援や瓦礫の撤去について国の支援が受けられるよう火災直後に地元国会議員に要望。



観光地の廃屋ビル撤去など観光地の高付加価値化事業について、地域指定、事業認定いただけるよう、災害における特別交付税の増額について同僚議員と活動。

都市計画法の見直し、境港出雲道路、山陰・伯備新幹線、市内交通、境水道大橋・隠岐汽船就航50周年事業、ネーミングライツなど提案しました。

## 原田守

- 【情報発信・防災関係について】市が有するデータの見える化と情報の発信、HPのリニューアルは？災害時の環境や情報システムの構築は？LINEでの情報伝達の導入は？



- 【経済対策について】コロナ感染症経済対策として「プレミアム商品券」の発行は？堀川周辺の観光資源は？水郷祭の取り巻く状況は？SDGsの推進の仕方は？

- 【子育て・教育関係について】総合計画におけるスポーツ振興の位置づけは？国スポ・障スポを迎え施設の改修計画は？デジタル化での子育て支援は？学校・公民館等の改修系計画は？等一般質問で、市の姿勢を問いました。

松政クラブだよりに記載した以外の、主な活動については、ホームページでご確認ください。

松政クラブ

検索

